



【巻頭言】

卒園式・入園式

—一期一会・別れと出会いと—

園長 野田大燈

例年の通り 3 月・4 月は別れの時と出会いの時です。

これは決して若竹学園のみならず、各学校や企業に於いても同じことでしょう。

学園では先月春分の日穏やかな春陽の中で、卒業式・卒園式が執り行われました。

卒業・卒園者は小学中学併せて約 10 名で、園生のご親族や学校関係・福祉関係、そして法人役員の方々と、普段は広々とした学園も人で埋まった感じでした。

最前列にいる卒園者の後列で在園者の男子数名が目を赤くして悲しみを堪えているのがとても印象的でした。

卒園生の中には 7 年間も学園生活を過ごした園生もいます。

ケンカもしたけど、苦しい時や楽しい時を分かち合って来た生活の積み重ねは何物にも代えがたい貴重なものだと思います。

卒業式の前日「15～6 年前に学園に居た S です。〇〇先生いますか？」という電話がありました。

とても残念なのは S 君が指名した先生が既に退職して電話に出られなかったことです。

やはり福祉施設に勤務する職員は長く勤めて頂いて、卒園者と会話が出来ることだと痛感しました。

今回の場合は、自分の置かれた状態が悲しいことや困難に遭遇している状態ではなく、現在のとび職としての充実感と新たに資格を取得したことを古巣の職員に告げたかったことが判りホッとしました。

今年度の中学卒園生 2 名の内、1 名は公立高校に、そして 1 名は通信制高校に入学することとなりました。

高校卒業の 1 名は既に就職が決定しており、四恩の里グループの自立援助ホーム「なごみハウス園」から職場に通います。

「なごみハウス園」には若竹学園卒の先輩が 4 名居ますのでお互いが楽しみにしているようです。

若竹学園は「児童心理治療施設」ですが、卒園しても、楽しいにつけ悲しいにつけ訪れることのできる学園でありたいと思います。

若竹学園は明年で開園 20 年を迎えます。

建築当初の計画では 50 名定員の建物でしたが、将来の少子化を危惧した行政の意見を取り入れて 25 名収容の建物です。

これを機会に増築を行い、家族療法の一環として保護者と園生に宿泊して頂き、保護者の方には可能なら数日を学園から職場に通えるようになれば、と考えています。

南海地震が現実の事として考えられていますので、その折には関係者に避難場所として提供できるように配慮するのも福祉の公共施設として当然かと考えています。

園生の希望や意見も取り入れた「私の学園」と自慢できる物建物を建築したいものです。

—了—

お別れ旅行 2月26~27日

今年も園生全員で、1泊旅行に行ってきました。場所は、大阪府【ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、大阪城天守閣、大阪造幣局貨幣工場】と兵庫県【ホームズスタジアム神戸】でした。



1日目は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで遊びました。学園から行くお別れ旅行の定番ではありますが毎年少しずつ違うアトラクションがあり、お

土産物も同じものが無いので、子ども達もあきることがありません。

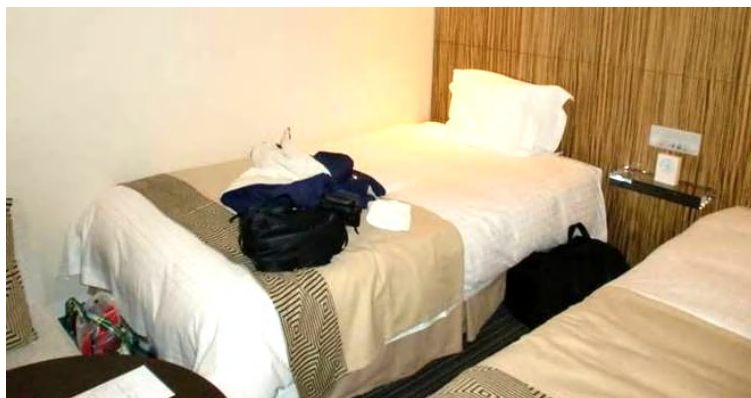


今年の子供達はあまりアトラクションには乗らなかったようで沢山あるショップめぐりを楽しんでいましたようです。

そんなお買い物の中でも今年多かったのが、キャラクターの帽子でした。それぞれ好きなものを選び、子どもも大人もかぶっていました。



17時の閉園まで過ごした後、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオフィシャルホテルに泊まりました。



落ち着いた内装で、バスとトイレが別々という豪華なホテルに感動しました。

夕食、朝食はともにバイキングで、それぞれが好きなものを選んでもりもり食べました。夜食用にとお菓子を買い込んでいた子どもたちですが、お菓子が食べられないくらい、たくさん食べたようです。

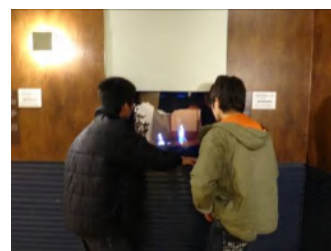


2日目は早朝から観光に出掛けました。



最初に大坂城天守閣へ行きました。8階まで一気に階段を上り、1階ずつ下りながら、豊臣秀吉など歴史についての解説を見ました。歴史好きな男児たちは解説を熱心に眺め、聞き入って

いました。また鎧と兜の試着があり、よろこんで試着して写真撮影していました。



in 大阪府・兵庫県

次に、大阪造幣局貨幣工場を見学しました。



貨幣が目の前の機械で作られているところを見学させていただきました。造幣博物館で記念コインに興味深そうに眺めていました。



午後、お弁当を食べてから、ホームスタジアム神戸を見学しました。普段、沢山の人が座る観客席は勿論、

実際選手がウォーミングアップする部屋や控え室に入れていただき、感激しました。

いちばん喜んだのが、選手の控え室です。壁に設置された棚に子どもたちも座って写真を撮りました。そのあと、実際にグラウンドに入れていただき、芝生を触ることが出来ました。



その後、バスで明石海峡大橋を渡りながら、途中でうどんを食べて帰りました。

楽しく遊べる場所から、普段見ることの出来ない造幣局やスタジアムの裏側を見ることが出来、盛り沢山で楽しい、1泊旅行となりました。

ホワイトデー & お菓子づくり

3月14日はホワイトデー。女の子からもらったままでは申し訳ないと、今年は男の子がホワイトデーにクッキーを作ってお返ししました。



学校の授業が終わってから、男の子達が食堂に集まりました。今回は、あらか

じめ作っておいた生地を伸ばして型抜きする作業からはじめました。大きさや形が色々な型を持ち寄ってココア、チョコチップ、抹茶味のクッキーを型抜きしたり、生地を細長く伸ばして、文字を作ったりしていました。



富士産業さんに焼き上げてもらったら、小袋に入れて封をして完成です。

その日の夕食に美味しく頂きました。

3月21日は小・中学校の修了式があり、中学校の先生の離任式も行われました。お世話になった学校の先生に何かしたい、と男児より希望があり、クッキーを焼いて渡す事にしました。



今回は、アイスボックスクッキーにしましたので、凍らせておいたクッキーを切り分けて富士産業さんに焼き上げてもらい、丁寧にラッピングして渡しました。

感謝の気持ちを伝える、いい機会になりました。また作りましょう！

卒業証書授与式・卒園式



3月21日、よく晴れた暖かい日に、卒業証書授与式、卒園式を行いました。今年は卒業生8名、卒園生4名が門出の日を迎え、関係者の皆さん、職員で見送りました。

在園生代表として、中学2年生たちが送辞を読み上げました。次の学園のリーダーとしてふさわしく、凛々しく頑張ってくれました。答辞は卒園する高校3年生が務めました。学園生活の総括となる立派な答辞に、職員一同涙ぐみました。

また、卒園生も含めて今年度最後の太鼓を披露しました。みんな非常に緊張していましたが、迫力ある演奏をしてくれました。



新しいスタートを切った卒業生、卒園生の皆さん、今までの若竹学園での生活を糧に頑張ってください！

卒園生から園長への手紙

園長へ

2年と2カ月お世話になりました。いろいろとごめいわくをかけてしまって申しわけございませんでした。かたをもんでくれてありがとうございました。頭をなでさせてくれてありがとうございます。あと園長がやめてほしいといっているそばから頭をなでてしまって本当に申しわけございませんでした。でも園長の頭きもちよかったです。夏祭りなどよんでくださいね。私の夢は、パティシエになることです。もし願いがかなったらぜひ食べにきてくださいね。本当にありがとうございました。

～御寄附ありがとうございました～

□菅 貴子様

パン 沢山

□香川県共同募金会様

パソコン 2台

デジタルカメラ 1台



3月行事

3日 ひなまつり

9日 図書館

12-13日 公立高校入試

21日 卒園式

公立高校合格発表

23日 図書館

編集後記 新年度を迎えましたが、職員は昨年度同様の体制で挑めることとなりました。子ども達のために、より一層精進していきますので、よろしくお願い致します。

第 330 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈